

第3期越生町人口ビジョン(概要版)

1. 人口ビジョンとは

今後の長期的な人口推移が与える影響を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものです。

2. 人口動向の状況

①人口の推移(図1)

総人口は、平成12(2000)年まで増加し続けていましたが、以降は減少に転じ、令和2(2020)年時点で11,029人となっています。

②自然動態の推移(図2)

平成14(2002)年までは出生数と死亡数が概ね同じ水準であったため、差し引きで0に近い値となっていました。しかし、平成15(2003)年以降は、出生数の減少と死亡数の増加によりマイナス超過が続いています。

③社会動態の推移(図3)

平成13(2001)年までは転入超過の傾向がありましたが、平成14(2002)年以降は転出超過が続いています。令和3(2021)年には転入超過となりましたが、その後は転出超過が続いています。

3. 目指すべき将来の方向

- ①結婚・出産・子育てを支援する
- ②越生への人の流れをつくる
- ③里山を活かした地域の仕事を育てる
- ④安心して暮らせる地域をつくる

4人口の将来展望(図1)

- ・合計特殊出生率を令和27(2045)年に1.09、令和42(2060)年に1.23まで回復
- ・転出超過の世代を令和22(2040)年までに0.5倍まで縮小
- ・さらに、子育て世代の移住を毎年6世帯(20歳後半から30歳代の夫婦と14歳未満の子ども2人)見込む

〈社人研推計〉

令和12(2030)年 9,490人
 令和22(2040)年 7,800人
 令和42(2060)年 4,755人

将来目標人口

9,766人
 8,442人
 6,222人

図1

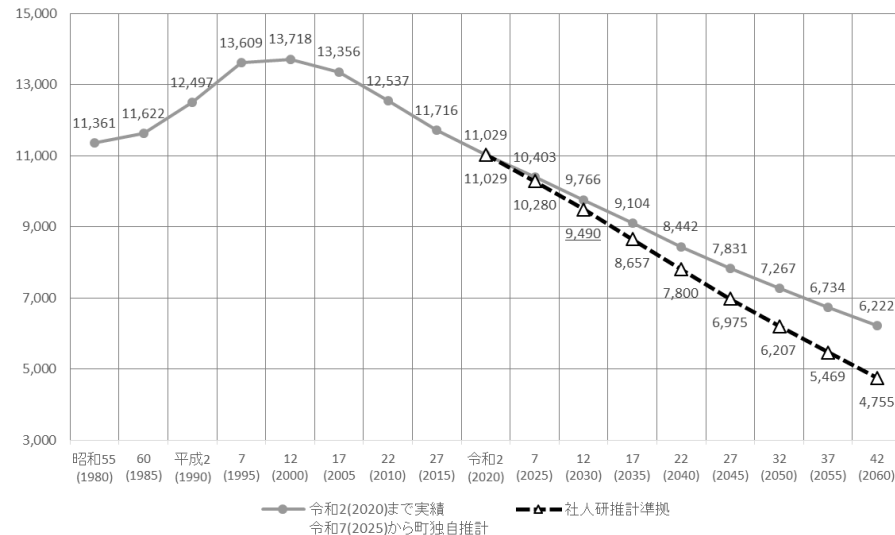


図2

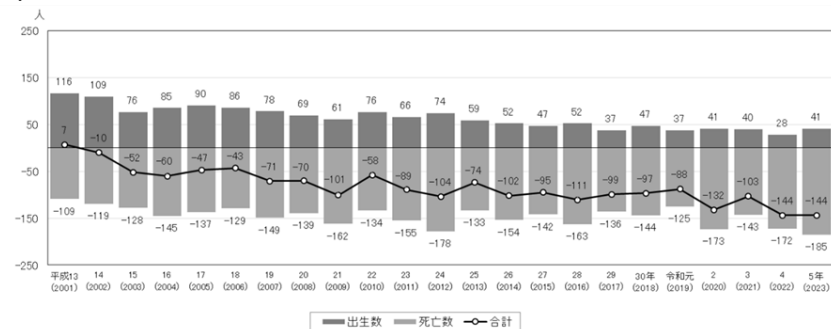


図3

